

概要

- ライナーカバー層は埋立地を閉鎖する際に通常配置される上層である。これらの上層は湿気，温度変化，侵食の直接的な影響を受ける。
- 本研究では，砂質粘土カバーライナーのせん断強度と密度を迅速に評価するため，動的コーンペネトロメーターの使用を提案。
- 実験室での落下コーン試験を行い貫入の傾向と乾燥密度の影響を確認。

まとめ

- 最適含水率の湿潤部分を考慮するとすべての密度の曲線が単一の直線に収束する。
- 直線は双曲線状で2つの異なるゾーンがある。最初の部分は曲線状で，2番目の部分は直線状。
- 異なる圧密エネルギーにさらされた層は異なるコーン貫入を生じる可能性。
- ダイナミックプローブを使用したサイト調査では貫入に加えて湿度の測定が推奨。



Fig. 1. Preparation of laboratory model for a sand-clay liner cover layer.

コメント・新規性

- 室内試験により，動的コーンペネトロメーターの使用効果を評価。
- conclusionを簡潔に結果をまとめてほしい。